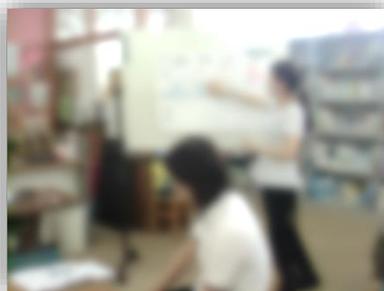




講師招聘による授業研究会～4年国語 「読むこと」の力を付けるために

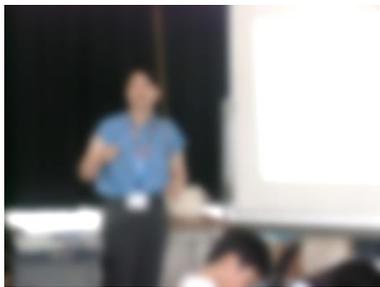


7月3日(水)の5時間目、校内研修の一環で、4年国語で研究授業を行いました。以前お伝えしたように、本校では、今年も国語の「読むこと」を中心に研究を進めています。今回は、研究授業の一回目。講師として、宇城教育事務所から原武指導主事をお招きしました。なお、読みとったことから、自分の気持ちや考えを述べることを実践の柱の一つとしています。4年国語の「走れ」という題材を使って、文の背景や意味、登場人物の心情などをとらえ、表現していきました。詳細は省きますが、子供たちは、「話したい」という意欲が高く、様々な言葉が手がかりにして、自分の考えを、理由とともに多く発表することができました。引き続き、私たち教師も学び続けます。(写真: 事後の協議で、班で話し合ったことを全体に伝える研究主任の松岡先生。いろいろな気づきが得られました)



JICA グローカルプログラム実習生による出前授業

宇城市は、独立行政法人国際協力機構(JICA)と協定を締結し、海外協力隊合格者が、派遣前訓練の一環として、自治体における地域活性化や地方創生等の取組に参加し地域活動を行う「グローバルプログラム」で実習生の受け入れを行っています。現在、戸馳では、実習生として松尾さんと宮脇さんが活動を行ってられます。このお二人の三角町での実習は7月中旬で終了されるとのことで、終了前に、お二人の海外協力隊の活動(建設(水質関係)コンサルタント、看護師の仕事の紹介)、アフリカの国々等についてお話をいただきました。お二人とも、小学生から中学生の頃に体験したことが現在の職業につながっているとのことで、子供たちの夢や選択肢を増やすお手伝いをさせていただけたらと思いお願いしました。今回授業を受けたのは5・6年生。7月5日(金)の2、3時間目に実施しました。ここではとても書き尽くせないほどの刺激を私自身もいただきました。子供たちが2時間、目をきらきら輝かせてお二人のお話を集中して聞いていました。とてもすてきな講話内容でした。小中学生のときに自分の将来の夢につながるきっかけにたくさん出会えれば良いと思います。



防犯教室 ～不審者を想定して～

7月4日(木)の業間の時間に、宇城警察署から署員の方に講師としておいいただき、不審者侵入を想定した防犯教室を実施しました。あつてはならないことですが、万が一のことを考え、子供たちと職員で適切な動きができるようにシミュレーションしたものです。その場その場の判断が求められるため、私たち職員にとってはよい学びの機会となりました。不審者を子供たちから遠ざけるための動き、避難行動をするタイミングや連絡系統など、緊張感あふれる時間となりました。署員の方からは、危険を察知したらとにかくすぐ逃げる、周りの大人にすぐ知らせること、自分たちだけでどうにかしようとしめないことなど念を押されました。また、お話のあとは、子どもたちからいろいろな質問が出され、これにも答えていただきました。(質問もなかなかいい内容でしたよ)

